

事業計画書（実績書）

令和2年3月18日

団体名 京都産業大学

<p>事業の目的 (何のために行う事業なのか など、事業の趣旨や目的を記 入してください。)</p>	<p>京都産業大学の教員及び学生が、綾部市をフィールドにして、地域住民、事業者、行政、市民活動団体等と関係を構築し、連携、協働しながら綾部市を活性化させるとともに、学生の視点で市の活性化につながる提案を行う。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>京都産業大学むすびわざプロジェクトinあやべ</p>
<p>事業費 (市補助金)</p>	<p>3,400,290円  (967,000円)</p>
<p>補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費 に補助金が充当されるか記入 してください。)</p>	<p>当該事業の実施に係る講師謝金、移動経費、会場経費など</p>
<p>事業の実施期日</p>	<p>2019年4月1日～2020年3月18日</p>
<p>事業の実施場所</p>	<p>綾部市内</p>
<p>事業の概要 (事業の実施方法、内容につ いて記入してください。)</p>	<p>滋野ゼミは過疎集落や綾部高校の生徒などとの対話により、地域の資源や問題点などを調査した。また、0農と称した畑の整備、地域イベントへの出店などコミュニティに積極的に参加することで、地域住民との信頼関係を構築し、潜在的な課題の抽出を行った。</p> <p>寺崎ゼミは演習で学んだ地域経済学を応用して地域が欠ける問題を分析した。「あやべ水無月祭り」花火大会での大規模アンケートを実施し、実際の来場者のニーズなどを掘り起こし具体的な解決策を提案した。また、地域の中心市街地の抱える空洞化問題や増え続ける空き家問題、地域の環境資源「水源の里」の現状などフィールドワークを通して調査し、問題の解決方法や有効な資源の活用アイデアを検討した。</p> <p>2月19日に、両ゼミ合同で活動報告会をあやべ・日東精工アリーナ（市民センター）で行った。報告会は担当教員のミニ講座や綾部市で1年を通して活動を行ってきたゼミ学生の発表を行った。綾部市民を中心に約150名が参加した。</p>

補助金の効果（成果）

（計画書では期待できる効果を、実績では得られた成果を記入してください。）

- ・綾部市民（地元住民、移住者共）と大学・大学生とのコミュニケーションの活性化とアイデア創発。
- ・移住者の意識や地元住民の生活文化等の記録作成。
- ・地域資源の活用状況の把握と、それを活かした事業構想、社会実験を通じた、事業化可能性の把握。
- ・花火大会の顧客分析を通じてPR等の手法を提案。
- ・花火大会の費用対効果を測定する上でのデータを提供。

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支予算書（計算書）

令和2年3月18日  
 団体名 京都産業大学

（単位：円）

収入の部	区 分	予 算 額	収入済額	明 細
	綾部市補助金	967,000	967,000	
	京都府補助金	967,000	967,000	
	自己負担	1,466,290	1,466,290	
	合 計	3,400,290	3,400,290	
支出の部	区 分	予 算 額	支出済額	明 細
	講師謝金	20,000	20,000	ワークショップ講師
	移動経費	1,468,604	1,468,604	車両借上、宿泊料、旅費、交通費など
	会場経費	25,250	25,250	会場借上
	諸経費	553,179	553,179	成果物冊子等印刷代、資料・ちらし等郵送代、消耗品代など
	その他	27,297	27,297	学生保険代
	人件費	1,305,960	1,305,960	教員1人、職員4人
合 計	3,400,290	3,400,290		
差 引	0	0		